



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域資源と遊休施設を活用したスポーツ合宿による地域活性化

会津 泰成 (あいず やすなり)

NSP新潟サッカープロジェクト 事務局代表



○ 登録者情報

所在地

神奈川県川崎市

略歴

- ・大学卒業後、テレビ局に就職しアナウンサーとして7年間勤務
- ・29歳で退職後、ノンフィクションライター、フリーディレクターなどメディア業界で活動。
- ・40歳を過ぎた頃から、「未来ある子供たちに何が出来るか」と考えるようになる。元プロサッカー選手の友人に誘われたをきっかけに、少子高齢過疎化に悩む地域(新潟県三条市下田)で、サッカーを軸にした「地方発、子供たちの未来づくり」を目標に活動を始めた。
- ・現在は首都圏に軸を移しスポーツの力を活用した地方創生活動に尽力している。

著書・論文等

- 『不器用なドリブラー(集英社)』(2011年9月)
- 『博多一風堂・河原成美／凡人が天才に勝つ方法(集英社)』(2011年4月)
- 『マスク越しに見たメジャー／城島健司大リーグ挑戦日記(集英社)』(2006年12月)
- 『歌舞伎の童 中村獅童という生きかた(講談社)』(2004年9月)
- 『天使がくれた戦う心(情報センター出版)』(2003年8月)

○ 地域資源と遊休施設を活用したスポーツ合宿による地域活性化

取組の内容

地域唯一のサッカークラブ運営や、元Jリーガーによるサッカー巡回授業などを通して、子供たちの活躍の場づくりや本格的なスポーツ指導が受けられる環境づくりに取り組んでいます。部員不足で消滅寸前だったサッカークラブは、引き継いで1年半で7人から44人まで増えました。子供同士のつながりが大人同士のつながりも作り、地域コミュニティ創出に寄与しています。

また、収益事業として、地域資源を生かした自然体験型サッカー合宿も開催しています。2019年度で事業開始から4年目になりますが、毎年夏休みになると、関東首都圏から複数の小・中学生のサッカークラブが訪れるようになりました。自然体験型サッカー合宿は、サッカーの練習や試合に限らず、農業体験、川遊び、といった「都会では体験できない企画」が好評を得ています。現在、訪れたクラブの8割以上がリピーターとなり、口コミで広がっています。

実績

2018年度／夏休み実績(7月下旬～8月中旬)
サッカー合宿参加者 延べおよそ600人
試合のみ参加など、地域来訪者の合計 延べおよそ2,000人

2018年度／年間実績
元Jリーガーによる巡回サッカー授業
地域にある5つのすべての小学校で60回開催

工夫した点や苦労した点

現在、私は、関東首都圏(神奈川県川崎市)と田舎(新潟県三条市下田地域)の二拠点生活をしながら活動しています。しかし、「地域唯一の少年サッカークラブ代表」という立場であることが、事業をする上でも地元の協力を得やすい環境にしてくれているように思います。「都会から来て仕事をしている人」ではなく、「都会でも暮らす、おらがクラブの代表」と認知されていることが、都会を拠点にする一般的な地域コンサルタントにはない、自分の強みであると感じています。

ひとことPR

「自然体験や農業体験とコラボしたスポーツ合宿」というビジネスモデルは、三条市下田地域同様に、地域資源の乏しい地方でも活用できます。地方には活用されていない遊休施設がたくさんあり、その数は今後更に増えることが予想されます。遊休施設を負の遺産にするか、それとも宝の山に変えられるかはアイデアと人脈(営業)次第です。顧客ニーズを掴むアイデアと積極的な営業活動が出来れば、どんな地方でも活性化できる、というのがわたしの信条です。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(子供の成長環境作り)
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

NSP新潟サッカープロジェクト	nsp-dream.com

連絡先

メールアドレス	aizu227 [アットマーク] gmail.com	その他	
---------	----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。